



* 世界自然遺產 *

中華人民共和國 重慶市 武隆區 資料



派生國際技術株式會社

武隆（ぶりゅう）区は中華人民共和国重慶市に位置する市轄区。



歴史

619年（武徳2年）、唐朝により設置された武竜県を前身とする。1380年（洪武13年）に広西に同名の県が存在したことより武隆県に改称されたが、清朝が成立すると1668年（康熙7年）に武隆県は廃止され涪州に編入、武隆巡検司が新に設置、1802年（嘉慶7年）には武隆分州と改編された。

中華民国が成立すると、1913年（民国2年）、武隆分州は武隆分県に改称、1942年（民国31年）には武隆設治局とされた。1945年（民国34年）1月、武隆県に昇格した。2016年11月に市轄区の武隆区（WuLong District）に改編され現在に至る。

総面積：2,901 km²

常住人口：41万人

空港：重慶仙女山空港（2021年開業予定）

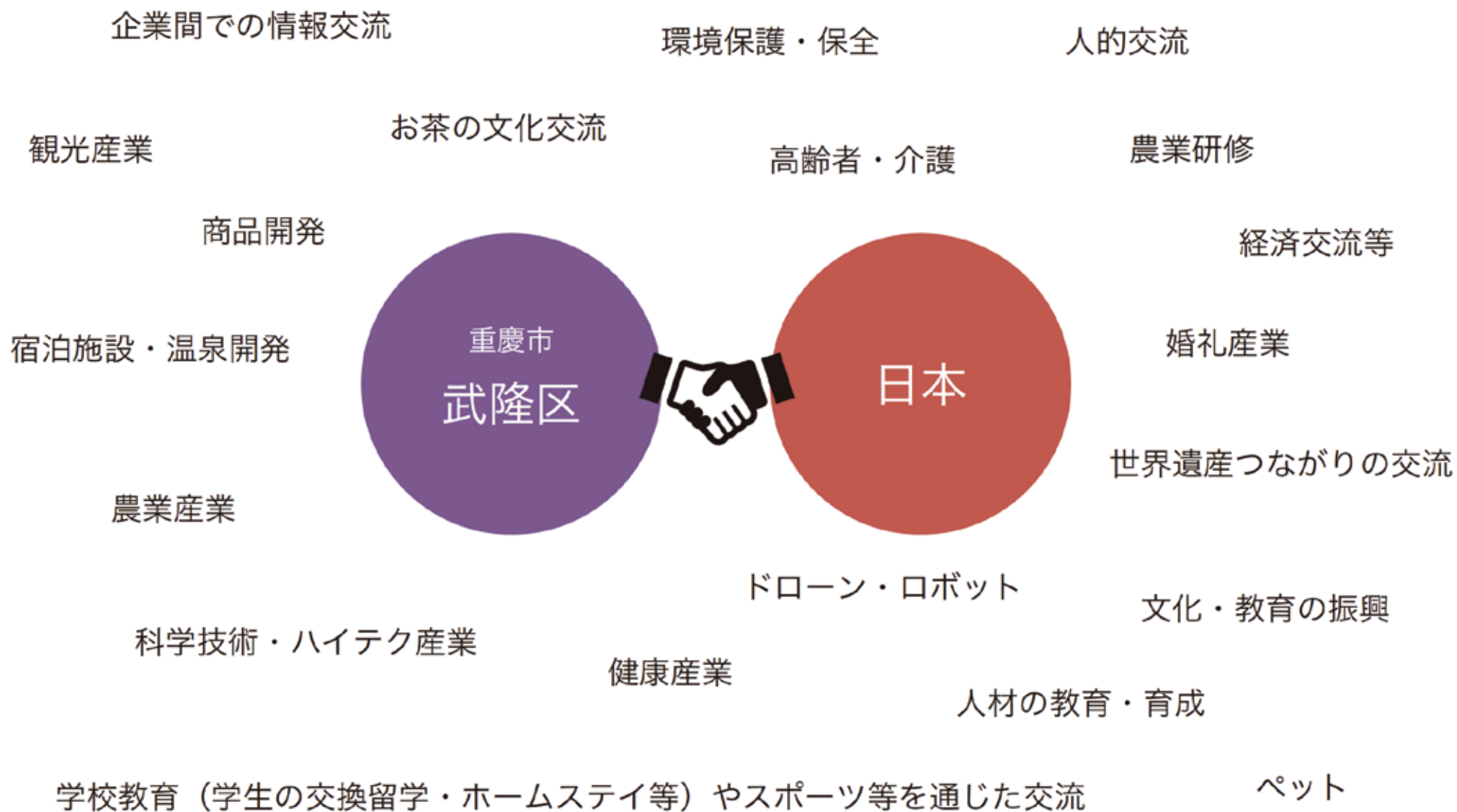
駅：武隆駅（中国新幹線で重慶から約2時間）

年間観光客数：3,600万人
日本の年間観光客数 3,120万人（2018）

観光収入：170億元（2,700億日本円）



派生国際技術株式会社



派生国際技術株式会社